

家族と新聞

二本松市 折笠 楓汰君
安達太良小4年

折笠 楓汰君

ぼくのおじいちゃん
は、じこにあい長い間車
いす生活をおくっていま
す。仕事もできず、ずっ
と家にいたおじいちゃん
のそばには、「新聞」が
あったそうです。おじい
ちゃんはその新聞のお
もしろさにひかれ、今で
は毎日、新聞を読むほど
大好きだそうです。ぼく
は最近、「おじいちゃん
に新聞がなかったら、今
ごろ何をしているのだろ
うか」と、おじいちゃん
が新聞を読んでいるとい
つも思います。

ぼくは、とてもつらか
ったと思います。なぜな
ら、体が不自由なおじい

ちゃん、体を動かすこ
ともできないし、その時
はまだ孫もいないし、大
人は仕事に行くので、お
じいちゃんにとって自分
で体を動かすページをめ
くり楽しむことはうれし
かったんじゃないかと思
っています。

本人に聞くと、「じい
ちゃんに新聞がなかった
ら、今のじいちゃんはな
い。新聞のおかげで、い
ろんな人との交流もで
き、絆が生まれ、じいち
ゃんの生活が変わった」
と言っていました。おじ
いちゃんにとって新聞は
「生きがい」と言ってい
ました。ぼくの予そつと

新聞と私

祖父 折笠 友一さん

同じで、あとでくわしく
聞くと、「つらかった」
と言っていました。ぼく
は、おじいちゃんに新聞
があつて良かったと思
います。家におじいちゃん
がいる間仕事に行ってい
る大人たちは、「じいち
ゃん大じょうぶかな」と
思っていると思います。
でも、新聞でおじいち

んが楽しんでると知れ
ば、仕事に行っている家
族も安心して仕事に集中
して取り組むと思いま
す。

四コママンガ番組表、
様々なニュース。新聞に
は、いろんなことがのっ
ているところもまた、お
じいちゃんが喜ぶ理由だ
と思います。

えながら新聞に目を凝ら
しました。新聞には社会
の出来事や地域の情報が
満載で、いつの間にか引
き込まれ、楽しい時間と
なりました。今まで味わ
ったことの無いことに私
の生活が明るくなったこ
と、今でも忘れられませ
ん。

中でも、「みんなのひ
ろば」欄は興味をわきま
した。読んでるうちに自
分も投稿しようと思ひ、
始めました。目標を立て
ると集中し、私の考えは
前向きになりました。新
聞の持つ力と思ひ、充実
感があふれました。難儀
しながらも挑戦しまし
た。後日、新聞に自分の
拙い文章と名前は活字と
なり掲載になりました。

証と思ひ、スクラップア
ップにしています。

読者の友人、知人の多
くの皆さんから電話をい
ただき、大きな励みとな
りました。おかげで読者
の方々と知り合いにな
り、今でもお付き合いを
させていただいております。
新聞に出合えたこと
で外出をする機会は増
え、楽しい思ひをつくる
ことができました。「み
んなのひろば」にお世話
になり、今年で三十周年
を迎えます。人と人との
つながり、生きることの
大切さ、命の大切さ。振
り返ると、あのとときの出
合いが無ければ私の今は
あり得ません。

早朝四時、今日も窓の
外から「コトン」と聞こ
えます。出合いのスター
トの音です。私は心から
感謝しています。

入賞作品紹介